

ドキュメンタリー  
映画「ザ・思いやり」

上映会+バクレー監督トーク

2016年2月14日(日)  
あーすぷらざ 5F 映像ホール

JR京浜東北線(根岸線)本郷台駅から徒歩3分



「オモイヤリヨサン」の疑問に挑む!!

ドキュメンタリー映画「ザ・思いやり」完成!



日本の経済が困難な状況の中で、日本人がここまでアメリカ軍を思いやらなければならないのでしょうか? 34年以上もの間、アメリカとの条約においては一切義務付けられてない「思いやり予算」は、日本人が自ら働いて支払っている税金からアメリカ軍へ34年間で6兆円以上が投入され、年間、米兵一人当たり1300万円という膨大な額を支給し、アメリカ軍人の贅沢な生活を支援するためにほとんどが使われているのです。

この映画では、米軍への「思いやり予算」の不条理さと矛盾を提示し、様々な視点から日本国民に問いを投げかけていきます。



知ッテイマスカ?

日本の税金が在日米軍のために使われていることを  
在日米軍家庭のための住宅、小・中学校、教会、銀行、ゴルフ場、マクドナルドなどの施設に税金が使われていることを。

電気、水道、ガス料金は使い放題、遊びでも有料道路料金がすべてタダだということ。

米兵による凶悪・暴行事件の賠償金にも使われていることを。

6兆円を超えるわたしたちの税金がすでに使われていることを。

開場

13:00

ご挨拶

13:30~13:35

◇上映

13:40~15:10

◇休憩

15:10~15:20

バクレーさん講演

15:20~16:00

◇質問タイム

16:00~16:30

◇料金

前売り:

一般 1,000円  
(当日1,200円)

学生・障がい者  
(前売り・当日共)

500円

高校生以下無料

保育:ご相談下さい

お問い合わせ先

090-5822-6927  
(中西)

e-mail でのお申し込み  
ttuneisi@gf7.so-net.ne.jp

(常石)

◇ 映画「ザ・思いやり」 2015年/日本/カラー/日本語字幕 87分

<http://zaomoiyari.com/about/>

◇ 監督:リラン・バクレー 出演:前泊博盛・呉東正彦・松元ヒロ ほか

◇ 上映会主催:時を見つめる会 共催:ストップ秘密保護法かながわ <https://himikana.wordpress.com>

## ◆ドキュメンタリー映画「ザ・思いやり」

<ごあいさつ>

えっ？こんなものまで「思いやり予算」？子どもの6人に一人が貧困の中にある日本で？

バクレー監督はアメリカ人でありながら、「なぜ理不尽な『思いやり予算』を日本人は米国にプレゼントし続けるのか」を探ってくれました。現在、日米の特別協定改定の時期に来ており、防衛省と財務省は、安保関連法制成立で自衛隊の役割が増すことを理由に、「思いやり予算」の減額を要求しましたが、米側は譲らず、16年度以降の5年間は100億円規模で増える見込みとなりました。（11～15年度は総額で9300億円でした）この映画から知ったことを、周囲に伝え、声を大きくしていきましょう。

諦めない。シカタナイと言わない。ゆっくり、急ぎませんか？



◆米海軍横須賀基地を望む三笠公園での一場面「思いやり予算」で建築された、米軍住宅などを呉東弁護士が紹介。

### ◆「思いやり予算」って何？

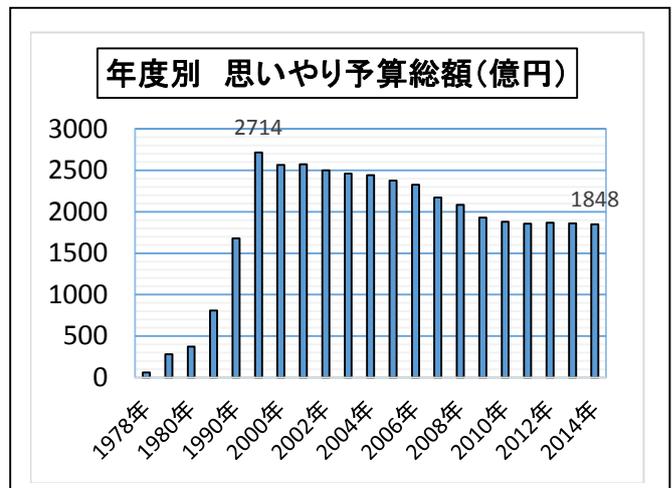
1978年6月、時の防衛庁長官・金丸信が、在日米軍基地で働く日本人従業員の給与の一部を日本側が負担すると決めたことから始まる。日米地位協定の枠を超える法的根拠のない負担に対して、円高ドル安などによってアメリカの負担増を考慮した金丸が、「思いやりの立場で対処すべき」などと答弁したことから、思いやり予算と呼ばれるようになった。

思いやり予算の内訳は在日米軍基地職員の労務費、基地内の光熱費・水道費、訓練移転費、施設建設費など。

思いやり予算の開始当初から現在までに日本が負担した駐留経費の総額は、年度あたりでもドイツや韓国と比較して額が多く、そのため、日本は「世界一気前のいい同盟国」と揶揄される。1999年の2,756億円が頂点となったあと総額の減少が続き、2010年には1,881億円まで減額していた。

が、同年に菅政権は、以後5年間の思いやり予算総額の維持をアメリカと約束した。(Wikipedia 電子百科事典から(グラフ数値も))

**→ しかし！ 現在日本が米軍のために支払う費用は、こんなものではなかった(映画でご確認を！)**



### ◆映画「ザ・思いやり」

2015年/日本/カラー/日本語字幕 87分 <http://zaomoiyari.com/about/>

監督・編集:リラン・バクレー、第一カメラ:高尾 徹、美術製作:岡田久幸 村永泰、音楽:ダレン・チルトン

出演:前泊博盛、呉東正彦、松元ヒロ ほか

### ◆監督プロフィール: Leland Buckley

リラン・バクレー(1964年アメリカ生まれ) テキサス州ヒューストン出身。1980年、高校1年生の時に、初めて来日し埼玉でホームステイ。歴史を専攻し高校の社会科の教員資格を取得。アメリカで大学院修了後、日本の大学院で文部省の大学院研究生として日本文学を専攻。1995年に天野文子氏の広島原爆日記を英訳し、原爆投下50年に、アメリカに天野氏と数人でアメリカ各地を訪問し、テレビ、ラジオ番組等で原爆廃止をアピール。他にも、地産地消、食糧やエネルギー自足に興味を持って活動。神奈川県在住、家族は妻・長男・次男の4人。